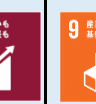
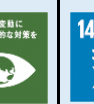


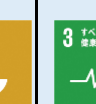
SDGs達成に向けた取組チェックリスト

【基本的な事項】

- ・期待レベルが「基本」の項目（黄色マーク項目）は、必須記載項目です。

・期待レベルが「応用」の項目は、該当がある場合に記載してください。

カテ ゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待 レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
人権・ 労働	1 【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している	基本	社会	部門長対し、チーム内において、ハラスメントと思われる発言・行動がないか、代表取締役月に一回、報告会を設けている。					○			○		○						○	
	2 【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている	基本	社会	部門長対し、チーム内において、ハラスメントと思われる発言・行動がないか、代表取締役月に一回、報告会を設けている。					○			○								○	
	3 【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない	基本	社会	過度な長時間労働が予見される場合、部長職による、事前に工数負荷を分散する会議を行っている。								○									
	4 【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している	基本	社会	部門長対し、チーム内において、外国人労働者への差別、人権侵害と思われる発言・行動がないか、代表取締役月に1回報告会を設けている。				○				○		○							
	5 【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている	基本	社会	部門長監督のもと、二週間に一回、従業員による安全衛生点検を行い、問題があった場合は再発防止の報告書を作成している。			○					○									
	6 【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している	基本	社会	【予定】福利厚生として、食事補助の導入を実施予定であり、食堂において会話の機会を設けることで、メンタルヘルスの管理を行う予定である。			○														
	7 【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている	基本	社会	能力を発揮するにあたり、言語的な問題での障害を減らすため、日本語での会話通し、意思疎通が問題なくできるように教育を行っている。					○			○		○							
	8 【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる	応用	社会	【予定】福利厚生として、食事補助の導入を実施予定であり、該当のサービス(健康写植)による健康増進を行う予定である。			○					○									
	9 【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している	応用	社会、経済	能力を発揮するにあたり、言語的な問題での障害を減らすため、日本語での会話通し、意思疎通が問題なくできるように教育を行っている。				○				○	○								
	10 【雇用形態にかかわらず公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている	応用	社会、経済	雇用形態に依らず、業務の種類が変わった場合、昇給を適時行っている。								○		○							

カテゴリー	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	基本	環境	ペーパーレスのため、スキャナーを利用し、図面等の保管を行っている。											○	○		○			
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	基本	環境	【予定】他社電力供給に依らず、自社により電力供給のための設備の導入を検討中である。							○						○				
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	基本	環境	使用が終わった際には、必ず電源・照明をオフにしているか、代表取締役により抜き打ちチェックを行っている。							○					○	○				
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	基本	環境	年に一回、担当者により、従業員に対し、どの物質が有害化学物質化の教育を行うことで、適切な使用の教育を行っている(担当者に対しては、代表取締役監督のもと教育を行っている)。			○			○					○	○					
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境	マイクロプラスチックの削減のため、客先指定の部品に代替品があった場合は、代替品の使用許可をとった後、使用するよう勤めている。						○									○		
16 環境	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	応用	環境	不要な水の使用を減らすため、部門長による適宜注意と、適切な使用の表示を行っている。						○											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	応用	環境				○			○	○					○	○	○	○		
18	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している	応用	環境													○					
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	応用	環境	印刷が必要な場合は、積極的に裏紙の利用を推進している。							○						○				
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	応用	環境													○	○	○	○		
21	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	応用	環境	年に一回、担当者により、従業員に対し、3Rの教育を行うことで、適切な消耗品の使用の教育を行っている(担当者に対しては、代表取締役監督のもと教育を行っている)。						○					○	○	○	○	○		
22	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	年に一回、代表取締役より、従業員に対し、汚職・贈収賄の禁止とその理由に関する教育を行っている。																○	
23	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	年に一回、代表取締役より、従業員に対し、不正競争行為の禁止とその理由に関する教育を行っている。																○	
24 公正な事業慣行	【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている	基本	社会	年に一回、代表取締役より、従業員に対し、何が知的財産に当たるか、またその使用にあたっての注意等の教育を行っている。								○	○								
25	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	社会	個人情報に関しては、代表取締役のみでの管理を行うことによって、管理不備を防いでいる。																	○
26	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	応用	社会	年に一回、代表取締役より、従業員に対し、何が紛争鉱物にあたるかの教育を行い、取り扱っていないかの確認をすべての従業員が理解を与えている。																○	
27	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害(低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等)の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)のための取組を要請している	応用	社会	取引開始にあたり、自社のポリシーの一環として、取引先に対し、対応を要請している。					○			○		○		○	○	○	○	○	○

カテゴリー	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
28	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	経済	製品・サービスに関する不具合、または不具合の可能性が予見される場合には、上長に必ず報告し、社内において是正措置を共有している。			○									○					
29	【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している	基本	経済	顧客検査合格対象であったとしても、自社検査の際に、傷・汚れ等があれば、再製作を指示している。									○								
30	【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	応用	経済、環境							○						○	○	○	○		
31	【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	応用	社会、経済	過度な長時間労働を対策する商品として、仕分け・ピッキング・掃除等が可能な、ロボットシステムの開発・製造をしている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	基本	環境、経済	月に一回、部門長より、従業員に対し、ごみの分別の徹底等、地域への影響を考えた業務がいかなるものかを教育している。				○					○		○	○		○	○		○
33	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	応用	社会					○							○			○	○		○
34	【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用(地産地消、地産外商)を行っている	応用	環境、社会、経済									○	○		○	○	○				
35	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に十分浸透している	基本	社会	年に一回、代表取締役より、従業員に対し、法令遵守の教育を行っている。また、随時、部門長に対して監督を行わせている。																○	
36	【内部管理体制】 ・経営理念(及びSDGsとの関係)・経営目標の社内への共有が行われている	基本	環境、社会、経済	年に一回、代表取締役より、従業員に対し、経営理念・経営目標を提示する機会を設けている。また、月に一度、部門長より、従業員に対し、従業員が経営理念・経営目標を理解しているかの確認を行っている。								○	○								○
37	【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている	応用	社会	年に一回、代表取締役より、従業員に対し、法令遵守の教育を行っている。また、随時、部門長に対して監督を行わせている。																○	
38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている	応用	環境、社会	担当者を設け、その担当者より従業員に対して教育を行っている(担当者に対しては、代表取締役より、教育を行っている)。																○	
39	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている	応用	社会、経済																	○	
40	【企業の社会的責任】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR(Corporate Social Responsibility)の取組を進めている	応用	環境、社会																	○	
41	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している	応用	社会																	○	○
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している	応用	環境、社会、経済										○		○		○			○	

